

特集

# 鎌倉時代の富士宮



富士宮は、鎌倉幕府の長(鎌倉殿)となった源頼朝が  
富士の巻狩まさがりを行ったゆかりの地です。

2022年、広報ふじのみやでは、  
頼朝にまつわる歴史や史跡などを定期的に紹介します。

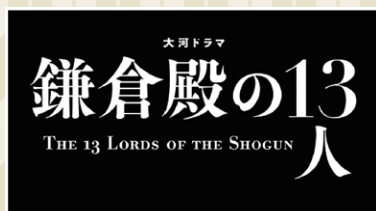
鎌倉時代の富士宮の歴史や文化に触れ、  
当時の人々に思いを寄せてみませんか。

第1回 源頼朝と富士の巻狩

第2回は、「曾我兄弟の仇討ち」(3月号予定)

2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」(NHK)

1月9日(日) 放送開始予定



華やかな源平合戦、その後の鎌倉幕府誕生を背景に  
権力の座を巡る男たち女たちの駆け引き——  
源頼朝にすべてを学び、武士の世を盤石にした男 二代執権・北条義時。  
野心とは無縁だった若者は、いかにして武士の頂点に上り詰めたのか。  
新都鎌倉を舞台に繰り広げられる、パワーゲーム。  
義時は、どんなカードを切っていくのか—  
主演 小栗旬(北条義時役) 作 三谷幸喜

# 源頼朝と富士の巻狩

1192(建久3)年、源頼朝は、鎌倉幕府の初代将軍となりました。

頼朝は、将軍としての実力を天下に示すために、軍事演習として各地で巻狩を行いました。

巻狩とは、イノシシやシカなどの獲物を大勢で四方から取り囲み、追い詰めて射止める狩りのことです。

1193(建久4)年5月、頼朝が富士の裾野\*で行った約1か月間の大規模な巻狩は、「富士の巻狩」といわれています。

\*現在の御殿場市と富士宮市(朝霧高原一帯、人穴、白糸、上井出、北山など)

## ふじ すその まき がりの す 富士の裾野巻狩之図

江戸時代の浮世絵「富士の裾野巻狩之図(富士山かぐや姫ミュージアム蔵)」には、富士の巻狩に多くの武士が参加している様子が描かれています。

棒を持ち、犬と一緒に獲物を追い立てる勢子(左下)や、追い立てられた獲物を弓矢で射たり、槍で突いて仕留める射手(中央)など、役割を分担して巻狩を行っていたことがわかります。

この図では、頼朝が、高台から巻狩の様子を見守っていたように描かれています。

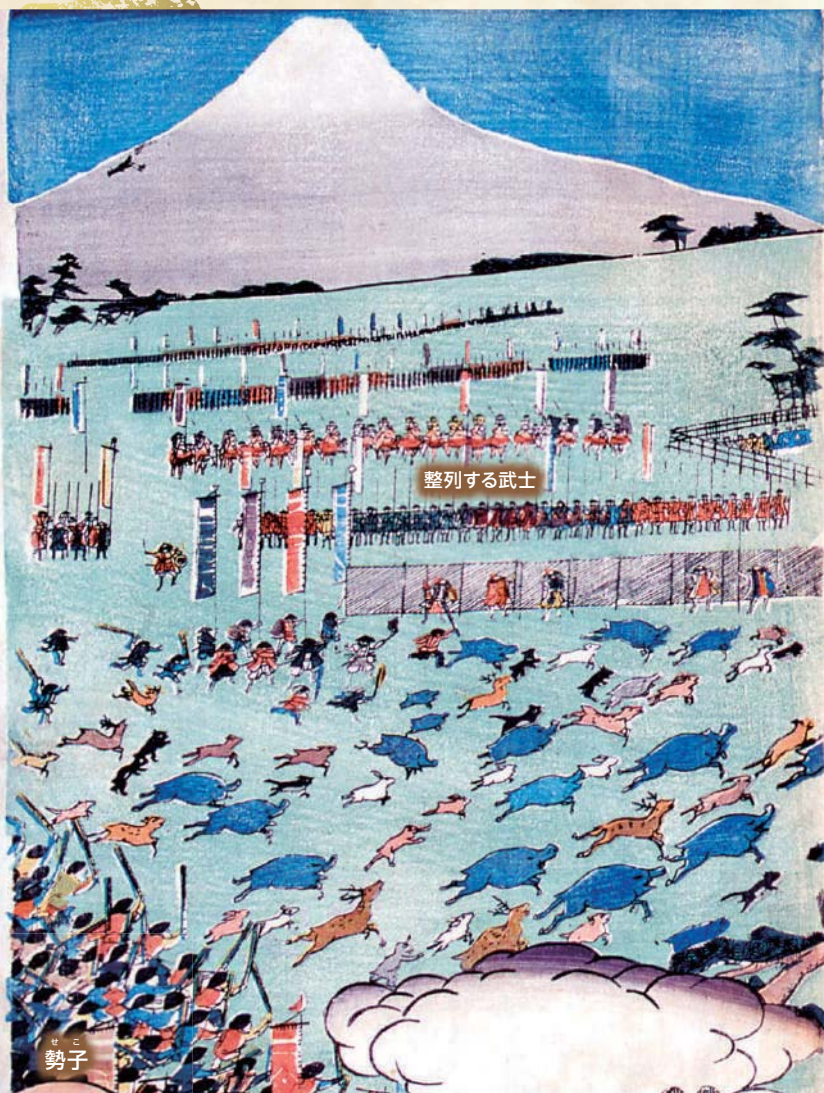
## こまだて 駒立の丘

上井出の北側にある小高い丘は、頼朝が巻狩の様子を眺めたとされており、駒立の丘といわれています。

その記念として、江戸時代と明治時代に駒立観音が造られました。



見返集会場の西側にある駒立観音大菩薩



## 頼朝 と 富士山本宮浅間大社

頼朝は、富士の巻狩の際、武将を連れて浅間大社を参拝し、戦への勝利と国の安泰を祈願したと伝えられています。

頼朝の奉納によって、浅間大社で流鏝馬が始まったとされています。

浅間大社では、毎年5月5日に、流鏝馬を奉納する神事(古式流鏝馬式)が行われています。



市指定無形民俗文化財  
「富士山本宮浅間大社流鏝馬」

流鏝馬は、走っている馬の上から弓矢で的を射る日本の伝統的な武芸で、平安時代末期から鎌倉時代に武士を中心に武術訓練として広がりました。



あづまかがみ  
吾妻鏡は、鎌倉時代の歴史書で、鎌倉幕府の初代将軍の源頼朝から第7代将軍までの将軍記が記されています。

## 武士の子なら当然

吾妻鏡に記されているお話です



頼朝は、10才となった長男の頼家を富士の巻狩に連れて行きました



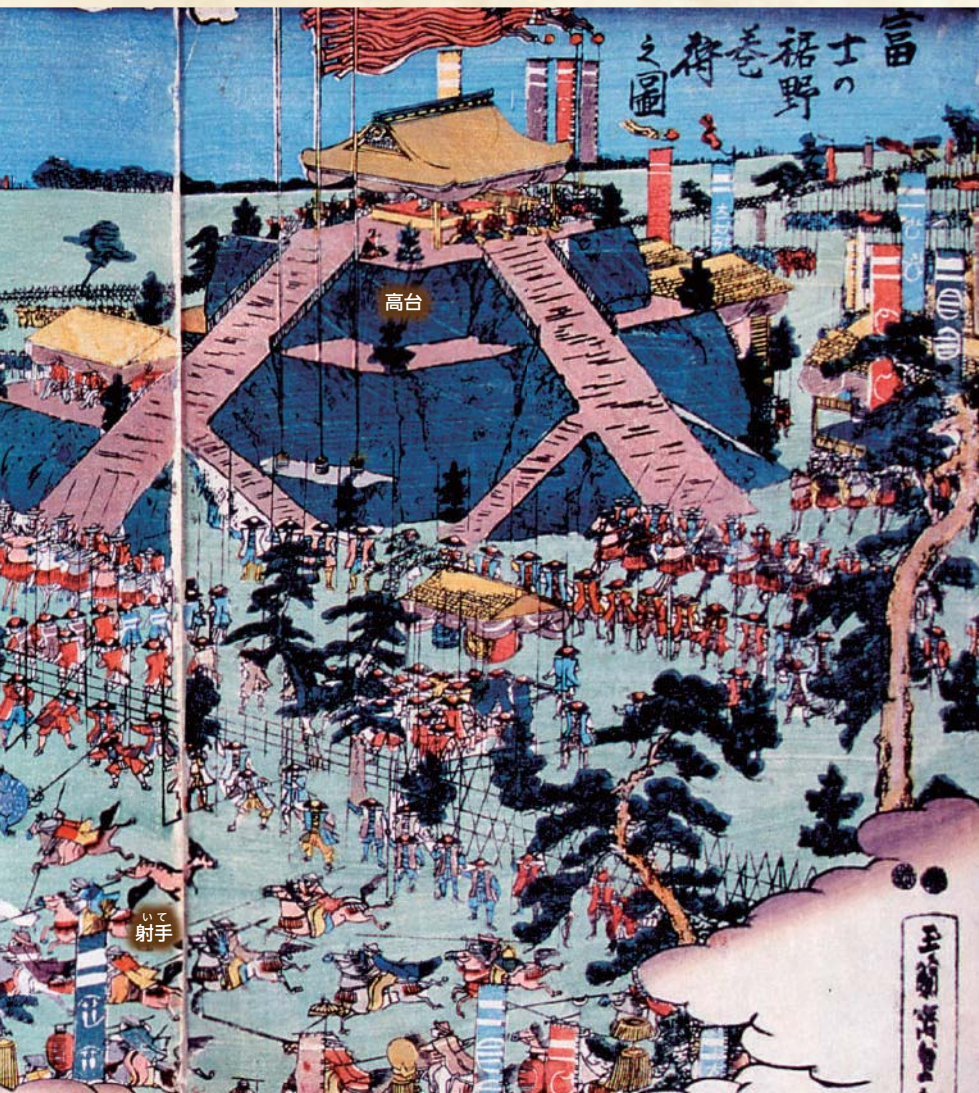
ここで頼家は、初めて鹿を射止めました



頼朝はこれをととても喜び、鎌倉にいる妻(北条政子)に報告の使者を送りました



報告を受けた政子は「武士の子なら当然。使者などいらぬ」と感心する様子も見せませんでした



高台

いて 射手

五郎清盛

# 富士の巻狩ゆかりの地

## 狩宿の宿舎 周辺マップ

巻狩の際、頼朝の家臣たちは、井出家とその周辺の地域に宿舎を置きました。



吾妻鏡には・・・頼朝が富士宮周辺に到着した5月15日は、仏教の教えで生き物を殺してはいけない日だったため、家臣たちと1日中宴会をしたとあります。



市指定文化財(建造物)

### ① 井出家高麗門・長屋

巻狩後、頼朝の宿舎「富士野神野御旅館」は井出家の屋敷として使われた。(現在の建物は江戸時代に再建)



特別天然記念物(4月中旬が見頃)

### ② 狩宿の下馬ザクラ

頼朝が馬から下り、この桜に馬をつないだことから、「駒止めの桜」ともいわれる。



### ③ 硯石

頼朝がこの石で墨をすったといわれる。



### ④ 猫石

勢子に追われた大きな山猫が沢で姿を消した後、猫の形の石が残ったといわれる。



### ⑤ 櫃石・甲石

頼朝が大石の上に鎧びつを置き、近くに甲を置いたといわれる。



### ⑥ 逆さ杉

頼朝が、杉の小枝を逆さにして沼に差したところ、そのまま根付いたといわれる。

## 令和3年度冬のテーマ展 「富士のふもどのかまくら時代」

平安時代から鎌倉時代へ、歴史が大きく動いたとき、私たちの住む「富士のふもと」はどのような状況下に置かれ、また、後世の人々がそのできごとをどのように伝えてきたのか、ゆかりの資料とともに紹介されています。



時 ～3月13日(日)9:00～16:30(休館:月曜日・祝日の翌日)

所 富士山かぐや姫ミュージアム(富士市伝法66-2) 料 無料

ミュージアムトーク

時 1/16・1/30・2/13いずれも日曜日 13:30～

料 無料 申 不要。直接会場へ

問 富士山かぐや姫ミュージアム ☎0545-21-3380



## 安居山の宿舎 周辺マップ

巻狩の際、頼朝は安居山太郎の館にも宿舎を置きました。



### ① 矢立池

頼朝が矢を射立てた所から水が湧き出し、池になったといわれる。



### ② 二つ石

頼朝が馬に乗る時に踏み台にしたといわれる。



### ③ 鞍掛石

頼朝が、馬の鞍を掛けたといわれる。



### ④ 郡石(頼朝の腰掛石)

頼朝が館にあった庭石に腰掛け、流鏝馬を見たといわれる。



### ⑤ 安居山太郎の墓

安居山太郎の墓にある五輪塔は江戸時代に造られた。



### ⑥ 逆さ柳

頼朝が、昼食で使った柳の箸を地面に差したところ、そのまま根付いたといわれる。

## 貸切バスで巡る「鎌倉時代の富士宮」

富士宮市民なら一度は訪れたい源頼朝や曾我兄弟ゆかりの地を、ガイドとともに巡ります。



オリジナルロゴ入り  
ガーゼタオル  
プレゼント♪

**時** 1月25日(火)または2月9日(水)9:00~12:00

**対** 市内在住の人 **定** 各10人(先着順) **料** 無料

**講** 渡井一信さん(郷土資料館長)

**申** 1月17日(月)9:00~電話で

**他** 集合・解散は市役所

**問** 広報課 ☎22-1119

